

議事録

会議の名称	令和元年度第1回加東市総合教育会議
開催日時	令和元年7月23日(火) 午前10時00分～午前11時45分
開催場所	加東市役所 201会議室
<p>議長の氏名 (市長 安田正義)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>&lt;出席委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長 安田正義</li> <li>・教育長 藤本謙造 ・教育長職務代理者 田中寿一</li> <li>・教育委員 藤本洋二、神崎芳美、藤原哲史</li> </ul> <p>&lt;欠席委員&gt;</p> <p>なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長 岩根 正</li> </ul> <p>&lt;まちづくり政策部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり政策部長 小林勝成 ・企画政策課長 下岡正裕</li> <li>・企画政策課副課長 山本幸平 ・企画政策課係長 小林寿泰</li> <li>・企画政策課主査 藤崎純平 ・企画政策課主事 山本舞</li> </ul> <p>&lt;教育委員会教育振興部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興部長 西角啓吾 ・教育総務課長 菅野勇一</li> <li>・教育総務課副課長 徳岡あけみ ・学校給食センター所長 簗田順子</li> <li>・生涯学習課長 長田徹 ・中央図書館長 田中美紀子</li> </ul> <p>&lt;教育委員会こども未来部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども未来部長 広西英二 ・参事兼学校教育課長 後藤浩美</li> <li>・こども教育課長 壺井初美 ・小中一貫教育推進室長 柴崎俊之</li> <li>・発達サポートセンター所長 片嶋美紀</li> </ul>	
<p>1 議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市教育大綱における各施策の平成30年度の取組状況について</li> <li>・子どもの安全について</li> </ul> <p>2 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 加東市教育大綱における各施策の平成30年度の取組状況について</li> <li>・資料2 子どもの安全について</li> </ul> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「令和元年度第1回加東市総合教育会議・会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 令和元年度第1回加東市総合教育会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
教育長	<p>1 開会 2 市長あいさつ 3 協議</p> <p>(1) 加東市教育大綱における各施策の平成30年度の取組状況について</p> <p>事務局説明</p> <p>先ほど、小中一貫校の整備方針の中で少し触れていましたが、開校スケジュールについて今どのような状況であるか、また今後どういう方向で進んでいくかという方針について話をさせていただきます。</p> <p>まず、開校スケジュールを変更することについて2通りの方法があります。1つは予定通り令和3年4月に開校する案、この場合については令和3年の年末までの校舎完成を目指すために、開校時に新たな校舎は完成していませんが、東条東小学校と東条西小学校の児童については、東条東小学校の校舎を活用して、教育活動を行います。小学校と中学校が当面離れた状況になりますが、義務教育学校として開校させる案になります。もう1つは義務教育学校の開校を1年遅らせた令和4年4月に開校するという案になります。</p> <p>開校スケジュールにつきましては、やはり地域の方々にも御報告等をする必要があるということで、6月27日に開校スケジュールの説明動画を放映し、また広報の7月号についても入札の結果を掲載したところです。</p> <p>今月の7月11日に第4回標準服検討部会、PTAの三役の方がお集まりいただいたときに、前回お話しした2つの案について意見をお聞きしたという経緯があります。その中で、先ほど申しましたように令和3年4月に開校する場合の報告の中に、1つは3つのステージ、いわゆる4・3・2制で小中一貫教育を進めていこうとしておりましたが、そういった中の意見の1つとして、5年生・6年生から中学校でやってはどうかというような御意見もいただきました。また、その場合には、小学校はすべて東条東でやるというふうなことも含めて、東条の小・中学校の方でPTAの運営委員会等がございますので、そちらに出向いて様々な御意見を頂戴する際に方向性が生まれてくると嬉しいと考えています。</p> <p>最終的に年度内には、教育委員会として、場所や用地等を含めて丁寧に説明をしながら方向性を決定していきたいと考えています。</p>
議長 (市長)	<p>今の教育長からの報告と合わせて、先ほどの30年度の取組状況について御質問、また御意見等を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>それでは初めに、小中一貫校につきまして、色々な難しい状況はあると思うのですが、計画に沿いながら是非進めていただきたいという思いとともに、先ほど保護者、児童の思いを大切にということもありますが、教育委員会として、市としては、やはり今後の教育や子どもたちにとって大切なことは何なのかという視点を持ち、責任を示しながら、その中で選択していけるような方向で協議していただけたらありがたいと思います。</p>
委員	<p>東条地域の方が予定通りに着手していないということなのですが、私が</p>

委員	<p>1番大事だと思うのは、やはり市民の方に丁寧に説明をしていくことだと思います。令和3年4月に建物ができるはずだった、そういうつもりでいた人もいます。信頼関係が一番大事だと思うので、市として、できなくなってしまった理由やこのような形で進めていくということをきちんと説明していく必要があると思います。</p> <p>学校ができたから終わりではなく、そこからまた教育が始まるわけですが、まだまだ始まったばかりで、今から社と滝野に建てないといけません。1つ目である東条もまだできていない状況なので、何とかうまくいくようにお願いしたいと思います。</p> <p>小中一貫については、全般として非常に整備が進んできているというふうに思います。また、ICTの問題にしましても、以前と比べましたらかなり活用が良くなってきているように思いました。</p> <p>それと、教育環境という面では、小中一貫教育の推進というものが大きな括りの中であると思いますが、小小連携や小中連携を積極的に取り組んでいただいているので、いい方向に進んでいるのではないかと考えています。</p> <p>また、今協議していただいている東条地域の小中一貫校の問題につきましては、できるだけ多くの方々の御意見を聞いていただき、最終的には開校準備委員会にも御意見を聞いていただき、その後、教育委員会で方向づけをしていくというふうに思っております。</p> <p>もう1つは、ICT支援員、部活動支援員、スクールサポートスタッフや英語サポーター等の色々な部分で市長にもお願いしています。サポート、支援員や教員の先生方の色々な部分で働き方改革につながるのではないかと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>そして、プログラミング教育の対応です。来年度から実際に対応が必要になってくると思いますが、来年度以降の計画等があればお話しただけでしたらと思います。</p>
参事兼 学校教育課長	<p>プログラミング教育については、来年度に新学習指導要領の実施によって小学校に導入されることになっております。</p> <p>教材としましては、レゴブロックを用いて、自分たちでプログラミングをして動かす等の学習やどの教科のどの単元でプログラミング教育を導入することが子どもたちの力を伸ばしていくことになるのかというようなことも含めて、年間指導計画の作成及び指導内容の協議について、今後研究を進めていきながら子どもたちの力をつけていきたいと考えています。</p>
委員	<p>小中一貫校につきましては、新聞等で報道され、不調に終わったということに対しての保護者や住民等の反響が思ったよりも大きかったというのを肌で感じています。</p> <p>ここで教育長から示していただいたような案を丁寧に地域住民の方、保護者の方に説明をし、御理解をいただくことを繰り返していくことが、今回の不安を払拭するのに一番大事なことだと思っています。</p> <p>それともう1つ、私が大事にしてほしいなと思うのは、東条中学校の入学式で、自分たちは義務教育学校の第1回卒業生であるという想いを持って中学校生活を送っている子がいると思っているため、決定した段階で子どもたちに説明することが大事だと思っています。</p> <p>それと、教育長が話したいいくつかの方策の中に、5年生・6年生が東条</p>

	<p>中学校へというような選択肢も1つの案としてあると思いますが、まだ小学校にいたると思っていただけに、来年から中学校へ行くということが決まれば、精神的なストレスを感じる子どもたちも出てくると思います。だから、決定した段階で速やかに不安を取り除く、子どもたちへの配慮も必要であるということを含めて、方向性を保護者や地域住民の方にきちんと説明するのは大切で、してほしいと思っていますので、是非お願いをできたらと思っています。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>東条地域の小中一貫校の話が中心になっていますが、後戻りはできないという想いで、我々も令和3年開校を中心に進めてきたのですが、期待を裏切るような状態になってしまい、本当に我々自身も非常に残念に思っております。皆さんがおっしゃっていただいたように、今後の方向性が決定した段階で早く知らせることは大事だと思っておりますので、しっかり行っていきたく思っております。</p> <p>あと、施策関係は、今委員の方からございましたが他の委員さん方よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>学校にALTが1人増える予定で、学習サポーターや英語サポーターという形で入っているのですが、そのあたりはどうなのでしょう。サポーターとしての効果は上がっているのですか。それとも、理想としてはこのサポーターもALTである方がいいのか、そのあたりはどのように考えておられますか。</p>
<p>参事兼 学校教育 課長</p>	<p>今回英語サポーターを導入するにあたって、ALTと担任の先生たちの打合せ時間の確保や言葉が十分でない中での打合せの仕方課題が上がっていました。英語サポーターの方々は、日本人ですので、打合せが割合スムーズにできたことやこういう点を打ち合わせすれば授業がうまくいくというような実感がありました。授業自体については、英語教育に造詣のある方々ですので、ALTと同じだけの成果が上がったのではないかと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、話の中でも出ましたけれども、スクールサポートスタッフを配置することで、効果やこれからの見通し等はどのようになっているのですか。</p>
<p>参事兼 学校教育 課長</p>	<p>現在、県費において東条東小学校に1名のスクールサポートスタッフを配置しております。昨年度からの配置ということですが、先生たちのプリント印刷、データの入力や電話対応等の教員の事務的な業務をサポートするというようなところで、年間840時間の配置をしております。</p> <p>昨年度において、先生たちの超過勤務時間が削減されたというようなデータも出ており、人に仕事をお願いすることで、先生たちが計画的に色々な業務を進めていくような関係も見られるようになりました。</p> <p>文科省の方から出ております働き方改革の中で、教員が本来業務である授業、授業の準備や児童・生徒と向き合う時間を確実に確保するために、教員でなくてもできる仕事についてはサポートを入れていくというような方針が出されていますので、方針にのっとりながら、小中一貫校の開校に向けて、どうしてもその準備のための時間がかかってくる学校において、まず話ができればいいなというようなことを思っております。</p>

教育長	<p>今、東条地域の方にスクールサポートスタッフを増やしている話をさせてもらっていますけれども、小中一貫に向かって、子どもたちの不安への対応ということについては、教職員が中心となって取り組むため、本来の業務以外にも大きな仕事が入ってきます。できれば東条地域の小中一貫校に至る3校については、スクールサポートスタッフが必要ではないかという思いがあることの説明をさせていただきました。</p>
委員	<p>説明を聞き、東条地域にまずスクールサポートスタッフを配置するということは、是非お願いをしたいなと感じました。小中一貫校に向けて、思いもよらない様々な事案が突発的に起こることも想定しておかないといけない。そのときに、教員が動きやすい体制をどうつくるのかというようなことは、とても大事なことだと思っています。人数配置や業務内容を明確にして、保護者等に説明をしないといけないので、仕事内容も明確にすることは大事だと思います。サポートスタッフを配置することはとても望ましいことだなと思っていますので、是非充実したスタッフになりますようお願いできたらと思っています。ただ、いろいろな職種の方が、同じサポーターという立場で入っているので、職務内容の違い等を明確にしておかないとそれぞれの中で混乱が生じたり、人間関係が難しくなったりというようなことも想定されますので、その辺も改めて整理をしていただけたらありがたいなと思っています。よろしくお願いします。</p>
議長 (市長)	<p>協議事項1番で、施策の30年度の取り組み、あるいはまた教育長からの報告等を含めて様々な御意見をいただいたというふうに思います。 それらについて、子どもたちのことをしっかりと尊重しなければならぬと思いますので、今日の御意見で何か実を結ぶように、実現に向けて頑張っていきたい、そんなふうに思います。</p>
議長 (市長)	<p><b>(2) 子どもの安全について</b></p> <p>それでは、2つ目の協議事項でございますが、子どもの安全についてということで私の方から説明させていただきます。まず、昨年6月になりますが、大阪府高槻市においてブロック塀が倒壊し、小学生がなくなった事故、あるいは今年の5月でございますが、大津市で園児が巻き込まれた交通事故、さらに川崎市でスクールバスを待っていた小学生・保護者が殺傷された事件等の事例がございました。子どもが被害に遭う悲しい事故や事件がある状況の中で、本市においてそのような事態にならないように、子どもの安全確保のための意見交換をこれからお願いしたいというふうに思います。</p> <p>事務局説明</p>
議長 (市長)	<p>今、事務局の方から取り組み等についての説明をいただきました。 まず、先ほども申し上げましたが、大津市の交通事故があった後、早速みらいこども園の交差点を確認し、歩道に車が進入できるような非常に空間の広い状況がありましたので、土木事務所と協議する中で、県道と市道との交差点ですが、みらいこども園の建築に際して、市の方で交差点を改</p>

委員	<p>良したということで、あそこは市の方で車が進入できないようにバリケード等の設置の話がありましたが、結果として土木事務所の方でやってもらうことになりました。市の方でもそれ以外の進入対策をするということで、早速に予算の措置をしました。</p> <p>それから、市道の通学路を中心に市道交差点11か所はとにかく緊急を要するため、これも予算措置をして、土木課の方でやらせています。</p> <p>あと、国道や県道の交差点も非常にたくさんあります。これらについては、国、県の方に要望をしていき、子どもたちに限らず歩行者の安全確保に努めていくような状況であります。</p> <p>そういったことも含めまして、何か御意見等お願いします。</p> <p>この通学路の安全確保に向けての学校の取り組みの中で、私の住んでいる地域では下校時にシニアクラブ連合会会員の有志の方が、主要交差点のところに毎日交代で立ち、子どもたちが安全に帰ってくるかを見守っていただいています。立っているだけでも危険な人が来ることを避けられるのではないかなと思います。</p> <p>ほかの地域でも、朝や帰宅時間にも立っていただいているのを見えています。ありがたいことだなと感じております。</p>
委員	<p>子どもの死亡事故等で一番多いのは交通事故による死亡、その次が突然死です。加東市通学安全プログラムということで、私自身も関係箇所については見えています。それまでも、PTAで毎年安全点検等を行い、色々な危険箇所と思うところを上げて、お知らせするのですが、なかなか具体的な形での成果というのは、見えにくい状況がありました。近年このような形で取り組んでいただいて、そのような要望を上げられた方に実際に変化、実績という形で提示することができるようになったらなと思います。</p> <p>1年の終わりには見守り隊との話し合いをする中で、このように要望をあげた箇所を実現していただいたという実績は、見守り隊の励みにもなっています。非常に他市に比べるとスピーディーになって、皆さんで関わっていただき、責任の所在を明らかにしていただいているなと思います。ですから、私が特に大切なのは、防げるものは徹底して防げる努力をしなければならないということです。事務局の説明の中からメンテナンスの話も出ましたが、そういった視点で基準を設けながら、安全基準表に基づいて施設整備の点検を行っていただき、必ず忘れたところに事故は起こります。実際には事故が起こってから動くということが多いわけですから、事前はその危険を察知しながら、日常的にメンテナンスについて気を配っていただく、まず堅実に防げるものを必ず防いでいくという視点を大事にさせていただきたいなという想いと、子どもたちのいじめのことが問題になってきています。</p> <p>子どもの成長に伴うものという捉え方だけではなく、不登校については、やはり親が相談する人がいなくて、親自身の不安や先生の方で判断ができないというようなケースを多々見てきたような気がします。</p> <p>そのような中で、現状を把握し、予約をとるのも難しいようであれば、カウンセラーの増員や、学校と保護者でうまく話ができないような場合に、弱い者の立場に立てるソーシャルワーカーの配置は、非常に効果があるのではないかと思います。</p> <p>それから子どもの貧困は、就学前の状態把握や小中の不登校者が将来のひきこもりにつながっていくような流れも踏まえての取り組み等、福祉と</p>

	<p>の連携を視点に入れながら、親が相談しやすい人員の配置等を踏まえながら計画的・長期的な教育目線というのが要るのかなと思います。</p> <p>いじめについては、社会的な孤立や家庭の中に要因があって自殺というのも本当にどんな形で起こるか分かりません。自殺予防のプログラムや子どもの教育について事前に予防すべきところは、道徳と人権だけでは補いきれないように思います。想定しながら、今日明日いつ起こってもおかしくないというような危機感ももっておりますので、御検討いただきたいなと思っています。</p> <p>私が気になるのは、交通事故だけではなく不審者です。もし帰りに1人だけ親が迎えに来た時に、1人になってしまい、その通学路はいつもだったら2人なのに1人になってしまったらどうするのかなというような不安があるので、先生方はその方もよく考えてくださっていると思います。ですから、登下校については学校単位でそれぞれ課題が違うのかなと思います。また、今朝来るときに商店街で子どもが1人だけで座っていました。プールに行くのかなと思ったのですが、夏休み等の自由になった時に、一体学校がどこまで把握しているのかというのが気になりました。</p> <p>それと、いじめの問題で、不登校やいじめ等は家庭環境ととても関連性があると思います。不登校になってしまった子どもの親が誰にも相談できず孤立してしまうのです。学校だけではなく社会教育関連の取り組みの中でも、チャレンジスクール等の行事に参加して、加東市がニーズを察知することで親世代に対応していくことが先かなと思います。</p> <p>親世代が市の行事等を利用すると子どもも、親が行っているから行こうかなというような、市の行事等をうまく利用してもらうようにすれば、孤立化せずにもっとつながりが出てくるのではないかと思うので、学校や教育だけではなく、親世代も参加してもらえるような行事等をしてほしいと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>通学路の安全ですが、保護者と子どもが一緒になって自分の目で、自分の足で安全な場所、危険な場所の確認をするということは、教育上とても大事なことだと思います。ハードで防げない部分は、そういった取り組みによって防げることがたくさんあると思うので、子どもも含めた取り組みとして是非続けていただきたいということが1点です。</p> <p>この通学路安全推進会議というのは、とてもいい会議だと思っています。というのは、以前は危険な箇所についてお願いに行くと、あちこちでお願いに回っていました。しかし、この会議に持っていくとお互いに行けることをやっていただけるということで、随分通学路の安全という意味では大きな進展があったと思っています。続けていただくことはもちろんのことなのですが、この取り組みを膨らませていっていただくことが大事だと思います。小中一貫校になっていくのですが、学校でPTAや子どもたちも含めてやっている危険箇所は通学路だけではないので、飛び出し防止の設置や危険箇所の看板を設置するというような、それぞれのPTAに委ねている部分も含めて一緒にやっていたらいいのではないかなと思います。そうすることで、市全体の危険な箇所、通学路以外の危険な箇所も含めた点検を子どもたちと一緒にしていくことが安心・安全なまちづくりにとっては大事なことで実現できたらいいなと思っています。</p> <p>それから、いじめについての話が先ほどから出ていますが、本当に根の深い多様化した問題の中で、できるだけいじめについては子どもたち、ま</p>

	<p>たは大人が関われるチャンネルが多い方がいいかなと思っています。スクールカウンセラー等の相談できる体制も随分充実していますが、多ければ多いほど私はいいと思っています。いじめで悩んでいる子にとっては、本当に人には言えない、自分の中で負ってしまっている子やひきこもっている子等も含めて、ネットで相談できる体制等を今後充実させていくことを、将来的な対応の方向性として考えていただけたらありがたいと思っています。</p> <p>それから、はぴあの方で臨床心理士を配置したことで、成人を対象とした相談や発達検査等を充実させる取り組みは、ひきこもりにとってとても大事なかなと思っています。成人を対象とした相談の場が市のどこにあるということ、福祉も含めてですが、やはり大切かなと思います。これだけひきこもりの中高年が多くなってきたとニュース等でやっていますが、ひきこもりの社会と離れてしまった人をつくらないという意味でも、こういった活動を充実させていただけたらありがたいかなと思っています。よろしくお願いします。</p>
<p>議長 (市長)</p>	<p>たくさんの御意見なり御提言をいただいたというふうに思っています。まず、委員からいただいたシニアクラブの皆さんが見守りをしている、このことは子どもたちの登下校中に人の姿が見えるというのが大きな安心感につながるのだろうというふうに思っております。今後も継続してお願いしたいなと思います。</p> <p>それから、色々なことの事案が起きますが、事務上のミスを含めまして、他市で起こることは本市でも必ずおこるという視点をもっておかないといけないことを伝えていきます。安全ということを考えてときに、今我々が取り組んでいるのは、防犯カメラの設置を増やしていこうというようなこともやっております。今現在、市の方で設置したのが89台ぐらいで、今後も効果がある場所に増やしていくことは継続していきたいと思っています。また警察署の方からも増やしてほしいと要請があり、防犯カメラがあると、警察に協力して犯人逮捕等の検挙につながるため、これからも取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>それから、先ほど、通学路の安全推進会議の話があったのですが、我々はまた交通安全対策委員会というような会議があります。そこに毎年、様々な要望があり、それをどのように処理したか、警察署の方に要望をお願いした結果の意見や見解等をオープンにやっています。ただ、どうしても我々でできないことがあり、例えば信号機の設置は公安委員会の方に何とかこれからも要望をしていくなどで対応をしていきたいと思っています。</p> <p>それから、自殺対策ということについては、先般も加東市の自殺対策推進本部会議を設置しております。自殺に関して言いますと、全国的なことでは、まず9年連続して自殺者数は減っていますが、19歳以下の数は増えている状況があります。それから、加東市は残念ながら国・県の色々なデータよりも加東市の自殺者数というのは高く、多い状況があります。それはしっかりと準備していこうと思います。</p> <p>あと、貧困対策、福祉総務課の方で昨年にアンケートをとっております。これは、子どもだけではなく保護者も含めてアンケートをとっていて、やはり、こういう言い方はどうかと思いますが、貧困の連鎖が起こり得るのだなど、結果を見て思いました。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほど、それぞれの課の方の発表をさせていただいて、そこで色々な案</p>



議 長 (市長)	<p>が必要かと言っているのですけれども、やはり人のさらなる充実に当てることによってできるということと、新たな視点をもって取り組んでいく必要があるというようなところ等を言われたと思います。</p> <p>それと、東条地域の小中一貫校の件につきましては、丁寧に対応していかないといけないということを改めて実感しました。本日は、ありがとうございました。</p> <p>あと、夏休みということで、いわゆる居場所の話もいただきました。そういうことになりますと、色々な行事を積極的にやっていただいて、8月にもまたドッジボール大会を開催するので、そういうところへ是非子どもたちも参加していただくことや参加する子どもを増やしていくことを大事にしていきたい。また、親世代にも色々な行事をやっているのですが、参加者が限られてきているというような現状があるので、生涯学習も含めて今から取り組んでいただきたい、そんな気持ちです。</p> <p>協議いただく2つのことについて、協議については終えたいと思います。協議事項以外について、そのことも含めても結構ですので全体を通して何かこれだけはこのことがございましたら御発言をいただきたいと思えます。</p> <p>質疑・意見等なし</p> <p>11時45分 閉会</p>
-------------	--